

# GIGAスクール構想支援事業 (市町立学校の支援)について

## 現状とこれまでの成果と課題

### ○現状の導入状況

- ・全学年導入済み・・・・・・・・・・17自治体
- ・12月までに全学年導入予定・・・2自治体
- ・令和4年度までに全学年導入・・・1自治体

### ○成果

- ・推進リーダーを中心とした活用の推進が図られている。
- ・校内研修を行い、教員のICT活用指導力の向上が図られた。
- ・日常的な活用している教科が多い。
- ・調べ学習での活用が充実している。
- ・若手教員の活用が進んでいる。 など

### ○課題

- ・今後の端末の活用について、方針がほしい。
- ・端末を活用している教員と活用していない教員の差が激しい。
- ・導入されたばかりで、活用は手探りの状態である。
- ・思考を深める場面や協働学習での活用場面が少ない。
- ・教師用の端末が整備されていない。
- ・校内における通信環境が課題である。 など

## (1) 端末活用のステップアップ構想

## (2) 令和3年度の取組

- ① 研究指定校の取組について
- ② 教科リーダー、エリアリーダー、スーパーティーチャーによる公開授業について
- ③ 1人1台端末の活用に関する校内研修について
- ④ 1人1台端末の活用力向上研修について

## (1) 端末活用のステップアップ構想

未来に向けて新しい価値を生み出す子ども

## 学びのSAGANアップデート

～|人|台端末で創る「広がる・深まる・つながる」学び～

授業改善

- ・ これまでの教育実践とICTのベストミックス
- ・ 個別最適化された学びの実現
- ・ 学びの広がり、深まり、つながりの追求
- ・ 限られた時間の有効活用
- ・ 共通理解と共通実践



## PROJECT E

全ての子供たちの可能性を引き出す 個別最適な学びと協働的な学びの実現へ

社会情勢  
の変化

- IoT、AI等をはじめとする技術革新により社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 多様化する子供たちに対応するための公正に個別最適化された学び実現への期待
- 感染症の広範囲に及ぶ流行や災害など危機事象対応への必要性の高まり

## 学びの広がり、深まり、つながりの追求

一人一台端末で良質な学びを創る

SAGANアップデートで目指す

### 良質な学び



#### 広がり

- ・表現の幅が広がる
- ・興味関心が広がる
- ・価値が広がる

#### 深まり

- ・議論が深まる
- ・思考が深まる
- ・理解が深まる

#### つながり

- ・知識がつながる
- ・学習履歴がつながる
- ・想いがつながる



学び続ける

教職員

児童生徒

保護者・地域

未来に向けて新しい価値を  
生み出していく子ども

超スマート社会を生き抜く知識、技能、課題解決力を身に付けた「子ども」

### 良質な学びの創造 ～学習活動の一層の充実～

- ・授業での活用（協働学習、ドリル学習、デジタルノート等）
- ・授業外での活用（キャリア教育、課外活動等）
- ・オンラインでの活用（授業、行事、危機事象発生時対応、不登校対策等）

発達段階に応じた「情報活用能力」の育成

### 授業づくり

～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現



#### 【ICT活用の利点】

- 資質・能力の確実な育成
- 多様な考えをリアルタイムで共有
- 児童・生徒1人1人の学習状況に応じた個別学習

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

### 教職員のICT活用指導力向上

～1人1台端末を活用した授業改善～



#### 【ICTの特性】

- 多様で大量な情報を容易にカスタマイズできる
- 時間的・空間的制約を超えることができる
- 双方向性を有する

これまでの教育実践とICTのベストミックス

児童生徒一人一人の個性や能力 及び 危機事象に対応した学習展開が必要

### 社会情勢 の変化

- IoT、AI等をはじめとする技術革新により社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 多様化する子供たちに対応するための個別最適な学びの実現への期待
- 感染症の広範囲に及ぶ流行や災害など危機事象対応への必要性の高まり



# 端末活用のステップアップ構想

## 1. 授業づくり **3**step

～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現～

## 2. 教職員のICT活用指導力の向上 **3**step

～1人1台端末を活用した授業改善～

## 3. 良質な学びの創造 **5**step

～学習活動の一層の充実～





## 授業づくり ～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現

### 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

## 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

### ○主体的な学び

- ・学ぶことに興味・関心をもつ
- ・自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- ・見通しをもつ
- ・粘り強く取り組む
- ・自己の学習活動を振り返って次につなげる

### ○対話的な学び

- ・子ども同士の協働を通じ、(教職員(地域の人)との対話を通じ)、自己の考えを広げ深める
- ・先哲の考えを手掛かりに考える

### ○深い学び

- ・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる
- ・知識を相互に関連付けてより深く理解する
- ・情報を精査して考えを形成する
- ・問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び 国立教育政策研究所 より

授業づくり ～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

「授業づくりのステップ1・2・3」をベースとして

**いつでも！どこでも！だれでも使える！**  
**授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1**

平成29年2月 佐賀県教育委員会

このリーフレットは、子どもたちにとってわかりやすい「授業づくり」に向け、佐賀県の先生方の授業がよりステップアップできるよう活用してもらうことを目的に作成しました。

それぞれの先生方が、子どもたち一人ひとりの「わかりたい」、「できるようにになりたい」という思いや願いを大切にしながら、日々の授業を振り返るとともに、授業をさらにステップアップさせることで、子どもたちの「学び力」をより一層向上させることができます。

全ての小中学校の先生方の全ての授業において、子どもたちにとってわかりやすい授業、力の付く授業を目指していきましょう。

**使えるポイント その1**

- ・いつでも使えます！  
授業の前に、教材研究に取り組み時、指導案をつくる時に、いつでも使えます。
- ・どこでも使えます！  
教室で、職員室で、校内研修で、どこでも使えます。
- ・だれでも使えます！  
経験豊富な先生も、若手の先生も、だれでも使えます。

**使えるポイント その2**

日々の授業づくりにおける大切な事柄の中から、「めあて」、「まとめ」、「書く活動」、「話し合う活動」、「振り返り」の5つに焦点をあて、それぞれについて3つのステップで示しています。今日の授業はどのステップなのか、チェックしてみましょう。

■ステップ1 佐賀県の多くの先生方が、すでに実践していると考えられるステップです。

■ステップ2 佐賀県のスタンダードとして、全ての先生方に実践してほしいと考えるステップです。

■ステップ3 ステップ2を実践している先生方に、次に目指してほしいと考えるステップです。

**授業づくりのステップ:「めあて」の提示について**

授業の中で「めあて」を示す目的は、この授業で何ができるようになるか、何をどのように考えればよいのかという、学習の目的や方向性を示し、1時間の見通しを子どもにもたせるためです。そのためには、教師がその授業で子どもに付けさせたい力を明確にする必要があります。

■ステップ1 授業の中で「めあて」を板書し、子どもに示していますか？

■ステップ2 「めあて」は、子どもにとって理解できる内容になっていますか？

■ステップ3 「めあて」は、1時間の授業で何ができるようになるか、何をどのように考えればよいのかなど、子どもが具体的にイメージできるものになっていますか？

※例えば…  
 長方形の面積は求めることができるけど、□のような形の図形は、どうやって面積を求めればよいのかなあ。  
 じゃあ、今日の学習のめあては、「□の面積の求め方を考えて説明しよう」でいいですか？

**授業づくりのステップ:学習内容の「まとめ」について**

授業の後半に学習内容の「まとめ」を行う目的は、「めあて」に沿って学習したことを客観的に見つめ直し、短い言葉でまとめることで、「何がわかったのか」「結果からどんなことが言えるのか」「この先に生かせることはどんなことか」など、子どもが、学んだことを具体的な力として自覚できるようにするためです。

■ステップ1 学習内容の「まとめ」を板書していますか？

■ステップ2 「まとめ」は、「めあて」に対応したものになっていますか？

■ステップ3 子どもの発言を取り上げながら「まとめ」を行うことやキーワード・文の書き出しなどを示して、子どもが「まとめ」を行うことができるようにしていますか？

※例えば…  
 2つに分けたり、足りないところにつくくわたりすれば面積を求められました。  
 長方形にして考えたらいいと思います。

**授業づくりのステップ:「書く活動」の設定について**

授業の中で「書く活動」を取り入れる目的は、自分の考えを整理するため、考えたことについて話し合う準備のため、自分の考えを表現するためなど様々です。いずれの場合も、活動の目的をはっきりさせた上で、必要に応じて取り入れることが大切です。

■ステップ1 必要に応じて、子どもが一人で考えて「書く活動」を取り入れていていますか？

■ステップ2 必要な条件や具体的な書き方などを示した上で、「書く活動」に取り組むことができるようにしていますか？

■ステップ3 自分が書いたものが「めあて」に沿った内容になっているかなどを、子どもが見直せるような手立てをとっていますか？

□授業後は 子どもが書いたものにコメントを記すなどして、先生による評価を子どもに返していますか？

**授業づくりのステップ:「話し合う活動」の設定について**

授業の中で「話し合う活動」を取り入れる目的は、お互いの考えを出し合い、認め合いながらそれらの共通点や相違点などを比較・検討し合うことを通して、考えを整理したり考えの幅を広げたりするためです。

●少人数で「話し合う活動」●

■ステップ1 必要に応じて、少人数で「話し合う活動」を取り入れていていますか？

■ステップ2 話し合いの目的や進め方、時間などを示していますか？

■ステップ3 話し合う内容を魅力的なものにし、話し合う必然性をもたせるなど、子どもが意欲的に「話し合う活動」を進めることができるようにしていますか？

●学級全体で「話し合う活動」●

■ステップ1 子どもが考えを発表し、その内容を学級全体で共有していますか？

■ステップ2 子どもと子どもの考えをつなぎ、子ども同士の交流を通して「話し合う活動」を進めていますか？

■ステップ3 子どもが出した考えを、共通性や関連性などの観点で整理し、みんなに示していますか？

**授業づくりのステップ:授業の「振り返り」について**

授業の最後に「振り返り」を行う目的は、子ども自身が、学習の達成感や味わい、学んだ内容を再確認するなど、次時につながる学習意欲と見通しをもつようにするためです。教師は、子どもの振り返りを、個別の指導に役立て、次時以降の授業づくりに生かすことが大切です。

■ステップ1 授業の最後に、子どもが「振り返り」を行うようにしていますか？

■ステップ2 「振り返り」を行う前に、学習内容の理解や学習活動への取り組み方など、何について振り返ればよいかを、子どもに示していますか？

■ステップ3 「めあて」に沿った振り返りの視点や判断する基準などを明確に示したうえで、子どもが「振り返り」を行うことができるようにしていますか？

※例えば…  
 今日の学習のめあては、「□の面積の求め方を考えて説明しよう」でした。どのような考え方をしたのか、わかったことやできたようになったことは何なのか、などについて振り返ってみましょう。

□授業後は 子どもの「振り返り」に目を通し、成長が見られた子どもをほめたり気になる子どもがいたら、すぐに対応したりしていますか？

**授業づくりの重要なポイント**

授業づくりにおいて重要なポイントはたくさんありますが、以下のようなことは、特に大切にしたい事柄です。日々の授業はどうなのか、チェックしてみましょう。

- 話し方や聞き方のルールなど、学習規律の定着を振り、落ち着いて学習に取り組める「環境づくり」に配慮していますか？
- 学習活動を適切に時間配分するなど、1時間の中で、「振り返り」まで効果的に指導できるよう「タイムマネジメント」に留意していますか？
- 子どもができる部分は任せると、教師が出すぎないよう留意していますか？
- 1時間の学習内容や子どもたちの考えの共通点、相違点、関連などが一目でわかるように、「意図的・計画的な板書」を心がけていますか？
- 授業の中で、何を、どのような順番で行うのか、1時間の学習活動の見通しが具体的にわかるよう、「学習の流れ」を黒板に示すなど配慮していますか？
- 授業の予習や復習を宿題にするなど、「授業と家庭学習のつながり」を意識した授業づくりを行っていますか？

授業づくりにおける大切な事柄の中から、「めあて」「まとめ」「書く活動」「話し合う活動」「振り返り」の5つに焦点をあて、それぞれについて3つのステップを示している。

# 授業づくり ~「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

## 1人1台端末の活用のポイント

- ・画像の一斉送信、端末からの随時提出
- ・書き込み、色塗り等の修正、変更、保存
- ・保存後の振り返りへの活用

### 授業づくりのステップ:「書く活動」の設定について

授業の中で「書く活動」を取り入れる目的は、自分の考えを整理するため、考えたことについて話し合う準備のため、自分の考えを表現するためなど様々です。  
いずれの場合も、活動の目的をはっきりさせた上で、必要に応じて取り入れることが大切です。

■ステップ1 必要に応じて、子どもが一人で考えて「書く活動」を取り入れていますか？

■ステップ2 必要な条件や具体的な書き方などを示した上で、「書く活動」に取り組むことができるようにしていますか？

■ステップ3 自分が書いたものが「めあて」に沿った内容になっているかなどを、子どもが見直せるような手立てをとっていますか？

□授業後は 子どもが書いたものにコメントを記すなどして、先生による評価を子どもに返していますか？

### <活用例①>



【算数】スライド機能を活用し、図、式、言葉を使用し自分の考えを記述する。

### <活用例②>



【理科】心臓の画像の一斉送信後、動脈を通る血液と静脈を通る血液を、赤と青に色分けをしたり、自分の考えを書き込んだりする。

## 1人1台端末の活用のポイント

- ・複数の画面の大画面提示
- ・静止画、動画を自在に加工
- ・多様な考えの共有、分類、整理

### 授業づくり ～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

#### 授業づくりのステップ：「話し合う活動」の設定について

授業の中で「話し合う活動」を取り入れる目的は、お互いの考えを出し合い、認め合いながらそれらの共通点や相違点などを比較・検討し合うことなどを通して、考えを整理したり考えの幅を広げたりするためです。

##### ●少人数で「話し合う活動」●

■ステップ1 必要に応じて、少人数で「話し合う活動」を取り入れていますか？

■ステップ2 話し合いの目的や進め方、時間などを示していますか？

■ステップ3 話し合う内容を魅力的なものにし、話し合う必然性をもたせるなど、子どもが意欲的に「話し合う活動」を進めることができますようにしていますか？

##### ●学級全体で「話し合う活動」●

■ステップ1 子どもが考えを発表し、その内容を学級全体で共有していますか？

■ステップ2 子どもと子どもの考えをつなぎ、子ども同士の交流を通して「話し合う活動」を進めていますか？

■ステップ3 子どもが出した考えを、共通性や関連性などの観点で整理し、みんなに示していますか？



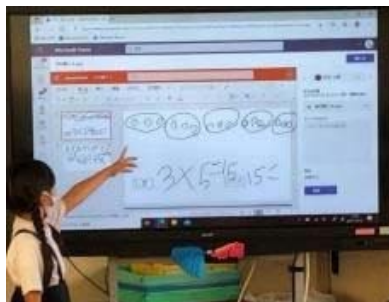
#### <活用例①>



##### ●少人数で「話し合う活動」

【理科】実験結果を端末で示しながら、記号や印を使って互いに説明し、考えを深める。

#### <活用例②>



##### ●学級全体で「話し合う活動」



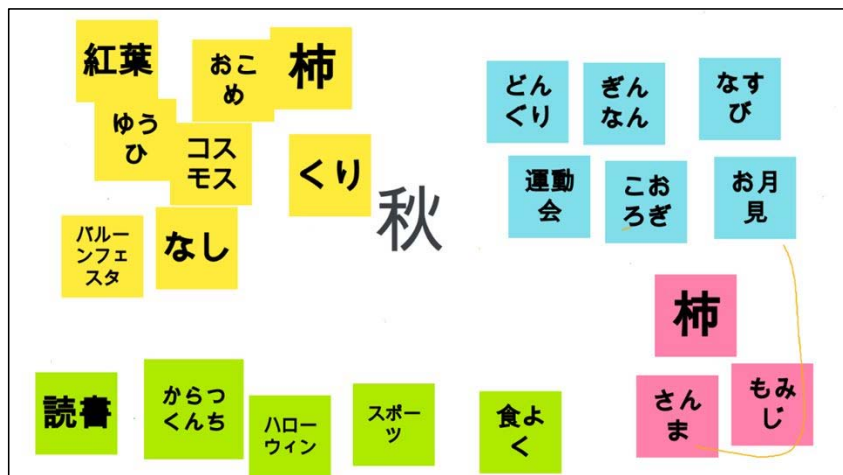
【算数】端末に記述した異なる考え方を確認しながら、共通点や相違点に着目し、考えを深める。

授業づくり ～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

<活用例③>

「書く活動」



【国語】「秋を集めよう」の題材で、ホワイトボード機能を使って、秋に関するものについて記述する。

考えの記述



1人1台端末の活用のポイント

- ・ 全体の考え、意見の把握
- ・ 書き込み、色付け等の修正、変更、保存
- ・ 多様な考えの共有、分類、整理

「話し合う活動」



グループでどのような視点で分類するのかを考えながら、分類、整理する。分類した理由を説明したり、分類したものがそれでよいのか確かめたりして考えを深める。

分類・整理

## 1人1台端末の活用のポイント

- ・短時間での実施、集約、グラフ化
- ・多様な考えの共有
- ・気持ち、考えの変容の確認

## 授業づくり ～「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

### 授業づくりのステップ:授業の「振り返り」について

授業の最後に「振り返り」を行う目的は、子ども自身が、学習の達成感を味わい、学んだ内容を再確認するなど、次時につながる学習意欲と見通しをもつようにするためです。

教師は、子どもの振り返りを、個別の指導に役立て、次時以降の授業づくりに生かすことが大切です。


■ステップ1 授業の最後に、子どもが「振り返り」を行うようにしていますか？

■ステップ2 「振り返り」を行う前に、学習内容の理解や学習活動への取り組み方など、何について振り返ればよいかを、子どもに示していますか？

■ステップ3 「めあて」に沿った振り返りの視点や判断する基準などを明確に示したうえで、子どもが「振り返り」を行うことができるようにしていますか？

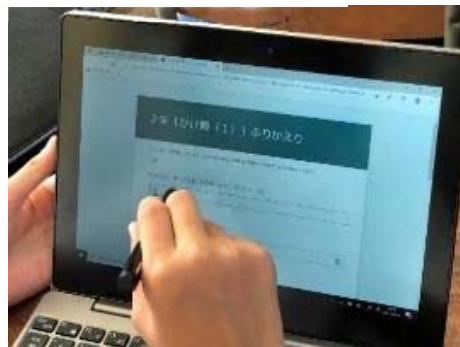


※例えば…

今日の学習のめあては、「の面積の求め方を考えて説明しよう」でしたね。どのような考え方をしたのか、わかったことやできるようになったことは何なのか、などについて振り返ってみましょう。

□授業後は 子どもの「振り返り」に目を通し、成長が見られた子どもをほめたり気になる子どもがいたら、すぐに対応したりしていますか？

### <活用例①>



【全教科】アンケート機能を活用し、振り返りを行う。

#### 【選択式】

- ・学習への意欲
- ・学習の理解度

#### 【記述式】

- ・授業でできるようになったこと・できなかったこと
- ・授業でわかったこと・新たな気づき・新たな課題

### <活用例②>

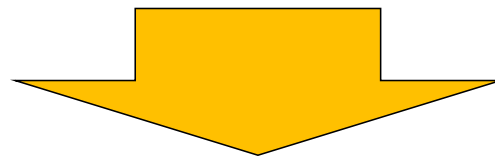


【全教科】表計算の共有機能を活用し、振り返りを行う。

アナログ → デジタル

1人1台端末を活用した授業づくり

- ・時短・効率化
- ・可視化
- ・繰り返し学習



良質な学びの創造へ

# 教職員のICT活用指導力向上 ~1人1台端末を有効に活用した授業改善~

これまでの教育実践とICTのベストミックス

## 1. 1人1台端末で変わる学び ← 教師も変わる！

工夫次第で、学びの可能性は無限大に

### 3 Step

＜活用例＞ホワイトボード機能を活用し  
多様な意見を、分類、整理、共有する。

#### Step 3

教科の学びをつなぐ。  
社会課題等の解決や  
一人一人の夢の実現に活かす。

＜活用例＞アンケート機能を活用して、  
課題についての予想をしたり、授業の振  
り返りをする。

#### Step 2

教科の学びを深める。  
教科の学びの本質に迫る。

＜活用例＞1人1人が文章作成機能を活用し、  
授業で学んだこと、分かったこと、疑問点な  
どを記入する。

#### Step 1

“すぐにでも” “どの教科でも”  
“誰でも” 活かせる1人1台端末

### Step 1

### Step 2

### Step 3

令和2年度 GIGAスクール構想の実現について 文部科学省 参考



**教**職員のICT活用指導力向上 ～1人1台端末を有効に活用した授業改善～

これまでの教育実践とICTのベストミックス

2. 高めたいICT活用指導力

4 Step

児童・生徒のICT活用を指導する能力

4 できる	3 ややできる	2 あまりできない	1 ほとんどできない
----------	------------	--------------	---------------

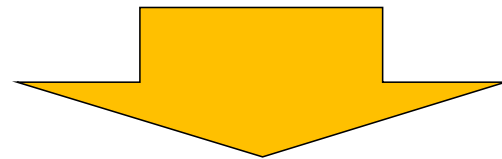
C-1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導する。				
C-2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。				
C-3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。				
C-4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。				

※教員のICT活用指導力チェックリストより 文部科学省

# 1人1台端末を活用する場を授業に取り入れる

## 例

- ・文書作成ソフトを活用した取組
- ・インターネットを活用した調べ学習
- ・プレゼンテーションソフトを活用した取組
- ・ホワイトボード機能を活用した協働学習



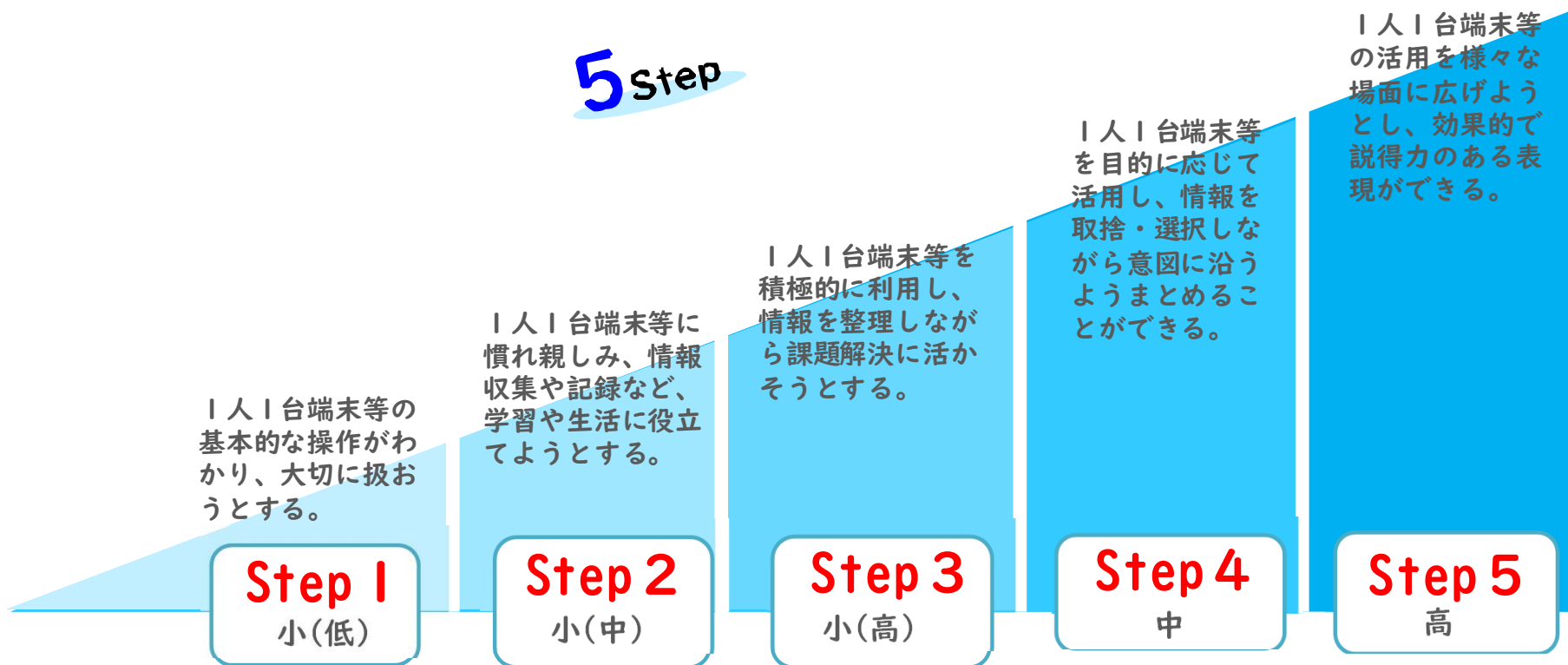
教職員のICT活用指導力の向上

# 良質な学びの創造 ～学習活動の一層の充実～

## 発達段階に応じた「情報活用能力」の育成

※ひとつの例として示すものであり、発達段階に関わらず、個や集団の実態に応じて参考にしていただくことも想定しています。

### 1. 目指す児童・生徒像



**良質な学びの創造** ～学習活動の一層の充実～

**発達段階に応じた「情報活用能力」の育成**

※ひとつの例として示すものであり、発達段階に関わらず、個や集団の実態に応じて参考にしていただくことも想定しています。

**2. 育みたい資質・能力**

分類		Step 1 小(低)	Step 2 小(中)	Step 3 小(高)	Step 4 中	Step 5 高
A. 知識及び技能	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	・コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作	・電子ファイルの検索	・電子ファイルのフォルダ管理	・電子ファイルの圧縮、暗号化、バックアップ等	・電子ファイルのクラウド上での活用や権限設定等
	問題解決・探求における情報活用の方法の理解	・身近なところから様々な情報を収集する方法	・調査や資料等による基本的な情報の収集の方法	・調査や実験・観察等による情報の収集と検証の方法	・情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法	・情報通信ネットワークから得られた情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方
	情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	・人の作った物を大切にすることや他者に伝えてはいけない情報があること	・自分の情報や他人の情報の大切さ	・情報に関する自分や他者の権利	・情報に関する個人の権利とその重要性	・情報に関する個人の権利とその重要性
B. 思考力、判断力、表現力等	問題解決・探求における情報を活用する力	・身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する	・調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、観点を決めた簡易な表やグラフ等や習得した「考えるための技法」を用いて情報を整理する	・目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する	・調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を組み合わせ活用したりして整理する	・分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する
C. 学びに向かう力・人間性等	問題解決・探求における情報活用の態度	・事象と関係する情報を見つけようとする	・情報同士のつながりを見つけようとする	・情報を構造的に理解しようとする	・事象を情報とその結びつきの視点から捉えようとする	・事象を情報とその結びつきの視点から捉えようとする
	情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	・人の作った物を大切に、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする	・自分の情報や他人の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとする	・情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重しようとする	・情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする	・情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする

※情報活用能力の体系表例（IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの）】（令和元年度版）全体版よりピックアップ

**良質な学びの創造** ～学習活動の一層の充実～

**発達段階に応じた「情報活用能力」の育成**

※ひとつの例として示すものであり、発達段階に関わらず、個や集団の実態に応じて参考にしていただくことも想定しています。

**3. 情報活用能力を育む1人1台端末活用場面**

授業での活用	授業・授業外での活用		授業外での活用	
<p><b>学習の定着状況の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の確認</li> <li>・確認テスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・自作教材の活用</li> </ul>	<p><b>調べる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検索機能の活用</li> <li>・図鑑、辞書等必要な情報の閲覧</li> <li>・目的に応じた調べ学習</li> <li>・調査の記録</li> </ul>	<p><b>協働制作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトの活用</li> <li>・ホワイトボード機能の活用</li> <li>・スライド機能の活用</li> </ul>	<p><b>進路指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業情報の収集</li> <li>・就職情報の閲覧</li> <li>・高等学校情報の収集</li> <li>・面接練習</li> </ul>	
<p><b>「協働的な学び」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の投影、共有</li> <li>・考え方の比較、検討</li> <li>・ホワイトボード機能の活用</li> </ul>	<p><b>記録、整理、分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画の活用</li> <li>・写真の活用</li> <li>・スライド機能の活用</li> <li>・録音機能の活用</li> <li>・音声認識ソフトの活用</li> <li>・プレゼンテーションソフトの活用</li> <li>・データ処理</li> <li>・表やグラフでの分析</li> </ul>	<p><b>まとめ・発表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトの活用</li> <li>・ホワイトボード機能の活用</li> <li>・スライド機能の活用</li> <li>・動画機能の活用</li> <li>・写真機能の活用</li> </ul>	<p><b>朝礼前、休み時間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイピングソフトの活用</li> <li>・学級日誌での活用</li> <li>・班日誌での活用</li> <li>・係活動での活用</li> </ul>	
<p><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート機能の活用</li> <li>・文書作成機能の活用</li> <li>・考えの共有</li> </ul>	<p><b>シュミレーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬による試行錯誤</li> </ul>	<p><b>デジタルノート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートとしての活用</li> <li>・ファイリング機能の活用</li> <li>・検索機能の活用</li> </ul>	<p><b>個別最適な学び</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリル教材の活用</li> <li>・復習動画・教材の活用</li> <li>・自作教材の活用</li> </ul>	
<p><b>回答機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の回答や考えを確認</li> </ul>	<p><b>解説・質問への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説動画の活用</li> <li>・実習手順の説明</li> <li>・操作手順の説明</li> <li>・技能面の説明</li> </ul>			<p><b>課外活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事</li> <li>・児童会活動、生徒会活動</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・部活動</li> </ul>
<p><b>学校生活のオンライン化</b> ・危機事象発生時の活用 ・オンライン授業、集会、教育相談、面接 ・クラウド活用の協働学習 ・学校行事での活用</p>				

# 最後に

## ☆1人1台端末の活用によさを生かした指導

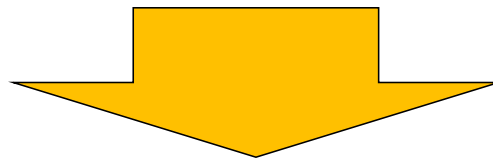
### 時短・効率化ができる

#### ○教師

- ・すべての児童・生徒の意見や考えを瞬時に把握することができる。
- ・課題の一齐送信ができる など

#### ○児童・生徒

- ・移動せずに、他者の意見や考えに触れ、考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・課題の随時提出ができる。
- ・繰り返し学習ができる。 など



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

## (2) 令和3年度の取組

- ① 研究指定校の取組について
- ② 教科リーダー、エリアリーダー、スーパーティーチャーによる公開授業について
- ③ 1人1台端末の活用に関する校内研修について
- ④ 1人1台端末活用力向上研修について

# ① 研究指定校の取組 (1人1台端末を活用した授業改善研究)

## ○研究発表会

- ・唐津市立肥前中学校 7月13日(火)
- ・神崎市立仁比山小学校 11月9日(火)  
(オンラインによる研究発表会)
- ・武雄市立武雄小学校 12月10日(金)



肥中生の「学ぶ力」を育成する学習指導法の工夫  
～アウトプット活動と1人1台端末の利活用を通して～

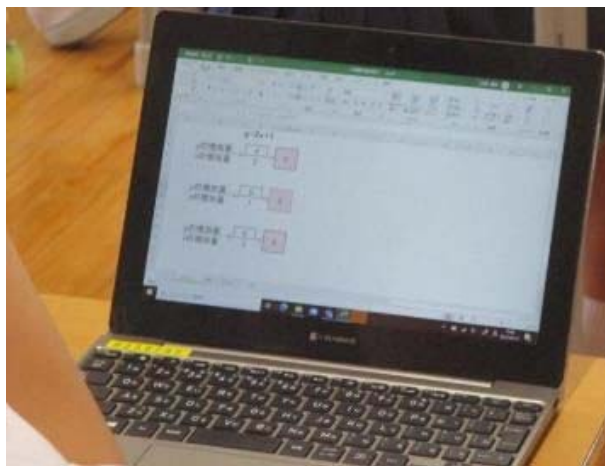
## 研究内容

授業、家庭学習、様々な教育活動において、1人1台端末も活用し、学んだことを「アウトプット」する活動を取り入れ、指導法の工夫を行う。

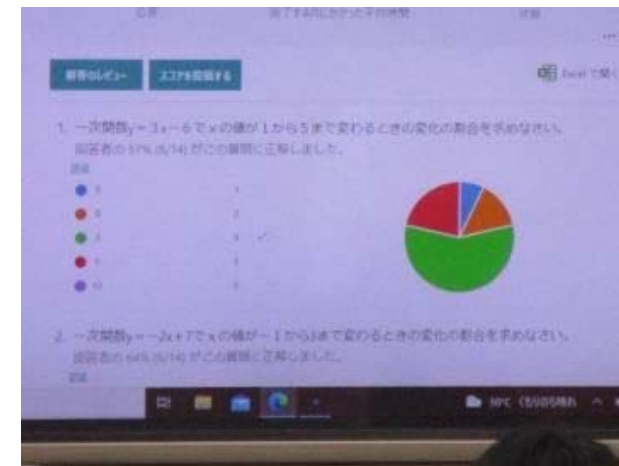
学ぶ意欲（学びに向かう力）、学んだ力（基礎的・基本的な知識及び技能）、生かす力（思考力・判断力・表現力）の3つを「学ぶ力」とし、生徒が生き生きと「アウトプット」する場面を設定することで、肥中生の「学ぶ力」を育成する。



○スライド機能（パワーポイント）の活用  
ヒントカードの送付



○表計算機能（エクセル）の活用  
予想した事柄をすぐに確認



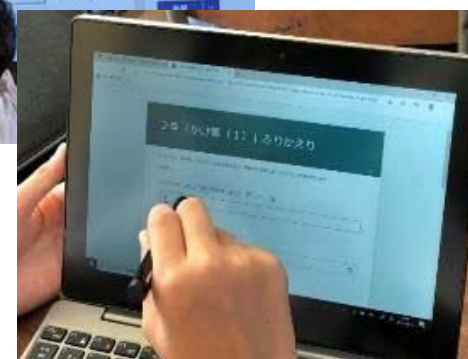
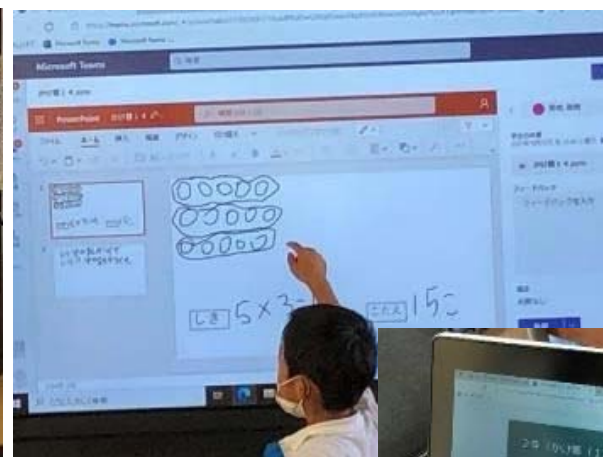
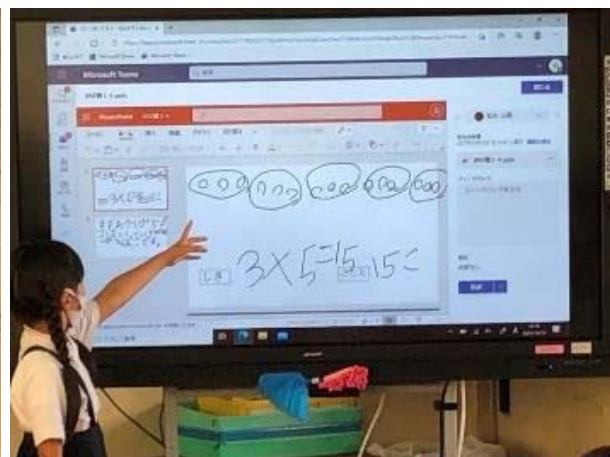
○授業前、授業後のアンケート機能の活用  
授業の振り返り、確認テストで理解度の確認

# 神崎市立仁比山小学校

「主体的・協働的に学ぶ児童の育成」  
～ 1人1台端末を活用した指導法の工夫（算数科を中心に）～

## 研究内容

主体的な学びを実現するための、1人1台端末等のICTを活用した個に応じた指導の工夫  
協働的な学びを実現するための、1人1台端末等のICTを活用した学び合い・話し合いの工夫



スライド機能（パワーポイント）の共有機能を使って自分の考えを書き込み  
端末の書き込みを教師が確認した後、電子黒板を使って考えを発表  
アンケート機能（Forms）を使って授業の振り返り

## 1人1台端末を活用した授業改善 ～「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現を目指して～

### 研究内容

1人1台端末を活用した授業改善に関する情報収集、整理、職員への共有  
「情報スキルアップ」「個別最適な学び」「協働的な学び」「情報活用能力年間計画」の4チームに分けて情報収集  
「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けた授業実践



多様な考えを出し合い、深める活動  
グループで協力して作品やパフォーマンスを作り出す活動  
相互評価をして互いの成長を励ます活動

## ②教科リーダー、エリアリーダー、スーパーティーチャー による公開授業について

# 公開授業について

## ○教科リーダー、エリアリーダー

### ○研修内容

#### (1) 公開授業

～1人1台端末を活用した授業～

#### (2) 授業研究会

ア 授業について

イ グループ協議

・指導事例の共有

・校内研修の実施状況及び進め方

ウ 協議した内容の報告

エ エリアリーダーによる助言

## ○スーパーティーチャー

### ○研修内容

#### (1) 公開授業

～1人1台端末を活用した授業～

#### (2) 授業研究会

ア 授業について

イ 実践事例の紹介

ウ グループ協議

・指導事例、授業づくりの共有

エ 協議した内容の報告

# 公開授業の様子



写真の選択



自分の考えの記述



グラフの特徴の記述



いろいろな考えに触れる



まとめの動画作成



授業の振り返り

③ 1人1台端末の活用に係る校内研修について  
○支援予定件数【11月30日現在】

合計	63件
① 小学校	45件
② 中学校	15件
③ 事務担当者	2町
④ 市町教育委員会	1市

※オンラインでの研修 8件(9月~10月)

# 1人1台端末の活用に係る校内研修の内容について

## 【研修の進め方】

### 1 事前準備

学校への聞き取り(ニーズの把握)

#### 【研修について】

- ・1人1台端末の活用の有効性、必要性の理解を促す研修
- ・授業における具体的な活用事例を盛り込んだ研修
- ・端末によらない汎用的な指導法に関わる研修
- ・学びの広がり、深まり、つながりの追求をしていく研修

## 授業における活用の推進

### 2 当日(例)

- (1) 1人1台端末を活用した授業づくり
  - ・「学びのSAGANアップデート」
  - ・活用事例等の情報提供
  - 明日から使える活用事例体験
- (2) 演習・協議
  - ア 授業での活用方法の検討(個人)
  - イ グループ協議(グループ)
  - ウ 協議内容の発表(全体)
  - エ 個人の具体的な取組の決定(個人)
- (3) 今後の活用に向けて
  - ・計画と実行、評価改善、情報の共有



## ○ 研修の様子



「話し合う活動」  
ホワイトボード機能を  
活用した「協働的な  
学び」をイメージ



「課題の送付」「振り返り」  
アンケート機能を活用  
した課題の送付や振り  
返りをイメージ

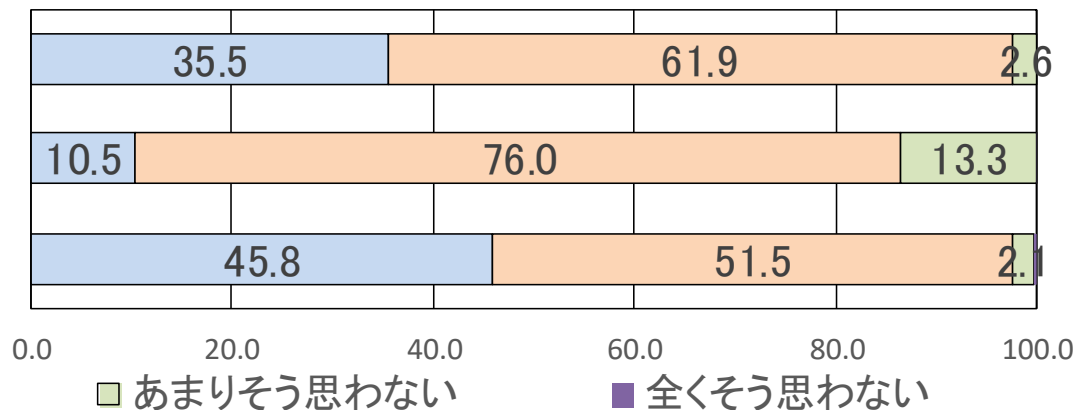
## ○ 研修終了後のアンケート(11月30日まで)

## 校内研修に係るアンケート

実践事例から、1人1台端末を有効に活用した授業について、理解を深めることができましたか。

1人1台端末の操作スキルが向上しましたか。

今後1人1台端末を積極的に活用していこうと考えていますか。



## ○ 感想の一部

- ・今回の研修では、タブレット端末の使い方のイメージをつかむことができた。
- ・トライ&エラーを繰り返し、情報を共有しながら少しずつ使いこなせるようにしていきたい。
- ・オンラインではあったが、実際に使いながら研修できたことがありがたかった。
- ・具体的な実践例を動画で見ることができたり、新しい機能なども知ることができたりした。今後、授業の中で少しずつ取り入れていきたい。
- ・意見交流の仕方について、ICTを使った方法を学ぶことができ、学習がより分かりやすくできることを感じた。ぜひ、実践していきたい。

## ④ 1人1台端末の活用力向上研修について

# 1人1台端末の活用力向上研修について

## ○実施日

- ・11月12日(金)
- ・11月15日(月)
- ・12月13日(月)
- ・12月14日(火)

## ○研修内容

- (1) 講義
  - ・「学びのSAGANアップデート」
  - ・活用事例の紹介
- (2) 講義  
エリアリーダーによる実践発表
- (3) 演習・協議
  - 演習
    - ・カメラ機能 ・アンケート機能
    - ・音声入力機能
    - ・ホワイトボード機能
  - 協議(グループ)
    - ・活用場面の検討
    - ・今後の活用に向けて

## ○ 研修の様子

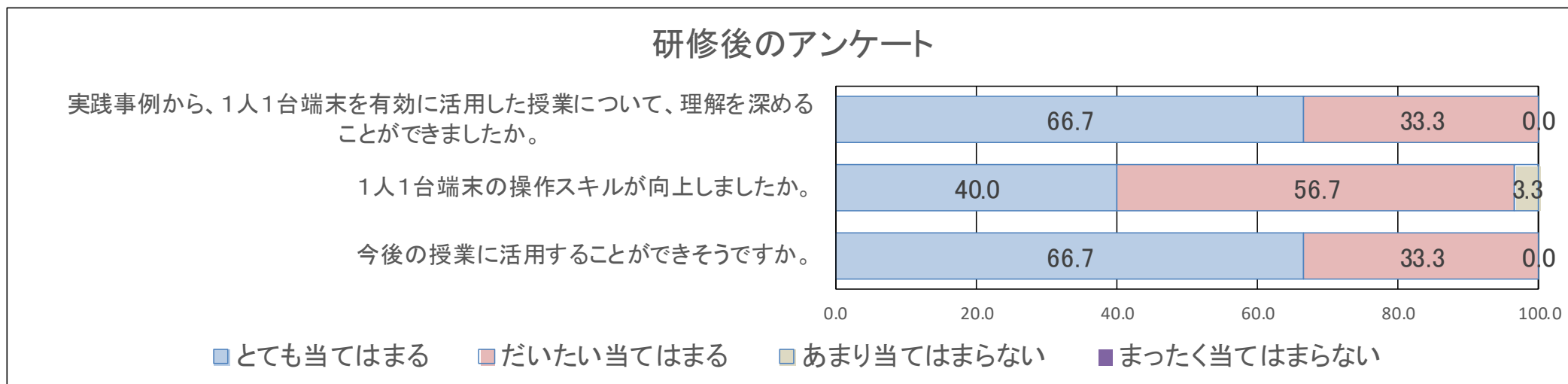


明日の授業で  
すぐ活用することができる  
体験



エリアリーダーの実践発表に  
よる活用事例の提供

## ○ 研修終了後のアンケート(11月分37名)

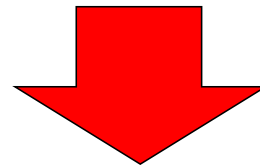


## ○ 感想の一部

- ・自分の学校では使っていない端末のことも知ることができてとても勉強になった。異動により端末が変わったらまた1から学び直しをしなければいけないと思っていたが、どの端末にも似た機能が備わっており汎用的な学びであるとわかったことが大きい。
- ・1人1台端末を使うことを目的とするのではなく、方法として活用することの大切さとトライアンドエラーの大切さを学びました。
- ・異なる校種ではあったが、活かせるような実践があり大変勉強になった。これから情報共有しながら実践事例を増やしていけたらと思う。

## ○今後について

- ・端末活用のステップアップ構想
- ・1人1台端末を活用した授業づくりの共有
- ・活用事例の提供
- ・研修の充実



**全県的な1人1台端末の活用推進**